

電子版
紙面ビューワ・記事検索
ご購読者は無料で
会員登録できます。
www.decn.co.jp/online/

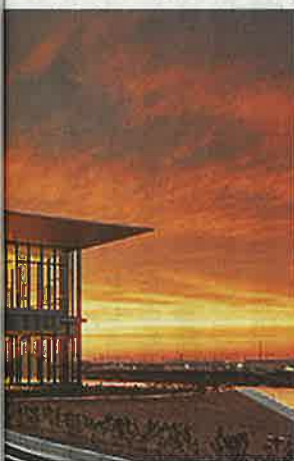
二 著
頁/(下)276頁
日(税込・送料別)
業新聞社
n.co.jp

建設工業新聞

優 動
comfortable space
空 間

豊かな経験・最高の技術
ロープ式・油圧式エレベーター設計・製作・据付・保守
横浜エレベータ株式会社
横浜市中区松影町2-8-6 ☎045(662)1594(代表)
http://www.yokohama-elevator.jp/

ーションを生かした



太平洋から昇る朝日を正面に仰ぎ、四国山地に沈む夕日たロケーションに建っている。建築主は徳島県阿南市に本社を置き、全国各所で太陽光や風力発電所を展開し、持続可能な社会の実現を目指す、地域に根ざした企業で

建築へ

国際的で魅力ある 建築職能人材育成へ

建築関係5会が提言

日本建築士会連合会(土会連合会)、古谷誠章会長、日本建築士事務所協会連合会(日事連)、上野浩也会長、日本建築家協会(JIA)、佐藤尚巳会長、日本建設業連合会(日建連)、宮本洋一(会長)、日本建築学会(竹内徹会長)の建築関係5会が14日、「国際的で魅力ある次世代の建築職能人材の育成に向けた提言」を発表した。国内の建築学生が卒業後に海外でも活躍できる環境を少しでも広げ、海外で建築を学んだ人材が日本国内でも広く活躍できる環境を整備。次世代の人材にとって建築に関わる職能が魅力的であり続けるため、各団体が連携し戦略的に取り組むべき喫緊の課題に対する提言をまとめた。

11面参照

建築関係5会の代表者が提言を発表した(14日、東京都港区の建築会館で)



「日常的に議論できる関係に」

建築関係5団体の代表者が14日、東京都港区の建築会館で共同会見を開き、次世代の人材育成に向けた提言内容や今後の展望などについて語った。

土会連合会の古谷会長は「現行の建築士制度が機能しているとした上で、製図試験は曲がり角にきている。試験制度の在り方を考え、関係官庁に働き掛けていき、日常的に議論できる関係に持っていきたい」と述べ、試験制度の改革の必要性を訴えた。

日事連の上野会長は「機関決定する中でさまざまな意見があったが、志を一つにしなければ良き人材が育たない。建築界がまな採用活動にしていきたとまっぴる行動できるアクションになる」とし、今後の展開に期待した。

JIAの佐藤会長は「建築士はアーキテクトとエンジニアが内在している。今、国土交通省、文部科学省、関係団体などへの働き掛けを進める」と説明。提言内容を2年にわたり議論してきた「産学連携建築教育懇談会」も継続し、検討を深めていく考えを示した。

代表者が共同会見

連携して取り組むべき6項目示す

提言は▽国際化対応へ向けた関係団体の連携強化▽日本の建築界が、将来にわたって魅力的で維持・発展▽1級建築士資格制度の維持▽建築教育と産業界での確保するための重要なテーマと位置づけられた。アーキテクトとエンジニアを包括した国家資格「建築士」の国際通用性向上▽国際協定傘下

の教育プログラム修了生の資格制度の強みを生かし、新しい技術や業務内容を反映した専門職能像へと発展させる。その魅力を幅広く継続的に発信、広報していく。像へと発展させる。その魅力を幅広く継続的に発信、広報していく。像へと発展させる。その魅力を幅広く継続的に発信、広報していく。

□ □ □

国際化への対応は関係団体一丸で対応すべき喫緊の課題に据えた。日本では建築設計に関わる団体が複数あり、各団体の会員加入率は決して高くないとした上で、職能代表として国際的なプレゼンスを十分に発揮しているとはいえないと指摘。今後の生産年齢人口の減少に伴い人的資源が分散しないよう、国際化対応に向けて関係諸団体が連携し一丸となって取り組む。

建築設計に関わるサービスが、国として国際的な信用性を獲得は今後、日本の建築学生が卒業後に国内外問わず活躍できる可能性を広げるために重要な要件となる。

1級建築士資格は、アーキテクトとエンジニアを包括したベースの資格として維持するとともに、今後は国内の生産年齢人口の減少やグローバル化の進展などに照らして国際的な信用性を増進するための対応方策を検討する必要があると指摘した。

近年の就職活動の実態を見るに、従来の採用活動の流れが現在の目的が達成されなかった検証した上、将来の日本の設計者が不利益を

建築設計に関わるサービスが、国として国際的な信用性を獲得は今後、日本の建築学生が卒業後に国内外問わず活躍できる可能性を広げるために重要な要件となる。

1級建築士資格は、アーキテクトとエンジニアを包括したベースの資格として維持するとともに、今後は国内の生産年齢人口の減少やグローバル化の進展などに照らして国際的な信用性を増進するための対応方策を検討する必要があると指摘した。

近年の就職活動の実態を見るに、従来の採用活動の流れが現在の目的が達成されなかった検証した上、将来の日本の設計者が不利益を

建築設計に関わるサービスが、国として国際的な信用性を獲得は今後、日本の建築学生が卒業後に国内外問わず活躍できる可能性を広げるために重要な要件となる。

View 本社棟

よつな地方型オフィスモデルの実現」をコンセプトとして計画した。敷地は津波に備えて堤防レベルまで盛り土し、地域の防災拠点としての機能を持たせた。一方で、建物は太平洋への眺望を最大限確保できる敷地北面の川岸に配置し、東西に延びる直線的な形状とした。太平洋に向かって11層高くした片流れ屋根とし、あた

洋を望むガラスに囲まれた大階段
写真=studio ento)



【物件名】GF本社棟
【所在地】徳島県阿南市黒津地町山下5

【建築主】GF
【設計・施工】大林組
【造・規模】S造2階建て延べ2349㎡
【期】2023年6月～24年3月

日本女子大

日本女子大学は、卒業生と現役学生が一堂に会して茶会を行う「千人茶会」を4月19日に東京大学文京区の目白キャンパスで開催した。2024年4月に開設した建築デザイン学部が参加した茶会では、同校創立100周年を記念して、建築デザインコンペで上位に選ばれた作品をキャン

デザインコンペ上位の茶室でお